

六甲カトリック教会報

2006.1 No.409

新年明けましておめでとうございます

1月のお知らせ

日	曜	教会暦	教会行事
1	日	神の母聖マリア 世界平和の日	0:00 7:00 11:00 ミサ
2	月	聖バジリヲ聖グレゴリヲ(パプアズ) 司教教会博士	
6	金		初金 7:00 10:00 ミサ
8	日	主の公現	7:00 10:00 ミサ 成人式・教会新年会
9	月	主の洗礼 成人の日	
14	土		14:30 教会学校始業式 もちつき大会
15	日	年間第2主日	10:15 壮年会総会・新年会
16	月		14:00 三日月会 ミサと例会
17	火	聖アントニオ修道院長	阪神淡路大震災の日 7:00 10:00 ミサ
18	水	キリスト教一致祈祷週間(25日まで)	
19	木		14:00 ベタニアの集い
20	金		婦人会新年会 10:00 ミサ
21	土	聖アグネスおとめ殉教者	
22	日	年間第3主日	
23	月		11:00 ベビーとママの集い
24	火	聖フランシスコ・サルジオ司教教会博士	
25	水	聖パウロの回心	
26	木	聖テモテ 聖テトス司教	
28	土	聖トマス・アキノナス司祭教会博士	
29	日	年間第4主日 カトリック児童福祉の日	
31	火	聖ヨハネ・ボスコ司祭	

心を尽くして神を愛しなさい!

皆さま 明けましておめでとうございます。新年のお慶びを申し上げます。西暦2006年・平成18年という新しい年が平和な年になり、皆様とご家族・ご友人お一人お一人に神の祝福が豊かに注がれ、心身すこやかで幸多からんことを心から祈念致します。

さて新年に当たって、主キリストが最も大切な第一の掟として教えられたことを思い起こしましょう。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい』という掟です。これが第一の掟であるということは、人間に対して強制力をもって命じら

れた義務のようなものです。通常、愛は掟でなくもっと自由でかつ心から出てくる自発的なものですが、イエスには「神様を大切にすること」が地上を旅する人間にとって最良の生き方であり、これ以上に価値のあることは無いという確信がお有りだったと思います。だから、これは掟ですよ!と仰言っているのでしょう。イエスご自身も生涯をかけて父なる神を愛し、人々にその天地の主なる神を指し示されたと思います。

イエスが引用された申命記6章には、具体的な教えが続きます。『私が命じるこれらの言葉を

心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座っている時も道を歩いている時も、・・・これを語り聞かせなさい。更に、これをするしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい』と。当時のイスラエルの人々にとって、自分たちの命を救って下さった神は大恩人であり、どんな人よりも如何なる物よりも優先して大切にすべき方だったのです。イスラエルが宗教国家だったとは言え、日々の生活の隅々に至るまで神様を大切にすることは、現代の私たちには驚くべきことではないでしょうか。しかも、多くの日本人が神様に無関心な時代ですから、もし私たちがこの掟を耳がたごになるほど子供に言い聞かせたり、街頭で人々に語ったり、紙に書いた掟を腕時計替わりに手首に付けて度々読んだり、額に張り付けて道を歩いたり、自宅の門柱に書き記したりするならば、ひょっとすると人々は「奇特なお方ですね」と拝みながら供え物や献金を置いて行かれるかも知れません。或いは、「病院に行ったほうが良い」と言われるかも知れないにしろ、大変な勇気がいることです。しかし、『心を尽くして神を愛する』とは、実は誰にでも出来るもっと易しいことなのです。

即ち、**神様と親しくなる**：遠く離れている家族や友人を想うように、天国にいる故人を偲

ぶように、永遠なる天の父に想いを馳せる。一日は24時間しかなく、したい事すべき事が山程あって足りないくらいですが、その貴重な時間のいくばくかを神様のためだけに使う。それこそが祈りだと思えます。しかも、家に座っている時も道を歩いている時も、神様！とか 主よ！と親しく呼びかけることは出来るでしょう。

喜んで生きる：両親の愛を通して無償でいただいたこの命・この人生を喜び味わい、日々出会う人々と共感し、神が創造された此の世界に感動し、時には耐えがたい哀しみに泣き叫びながらも神の救いに希望しつつ生きていくことは、命の与え主である神様への大きなご恩返しではないでしょうか。**神様のことを語る**：これは少し難しいことかも知れませんが、家庭で子供と一緒に祈ることから始めましょう。神様をやさしい言葉で伝える良い練習になると思います。

感謝する：私の人生に起こる全てのことを神の計らいとして受け取るなら、また一緒に生きている優しい家族や友人も全て神がめぐり逢わせて下さったと信じるなら、自然と感謝の念が湧いてくることでしょう。教会共同体は日々心を合わせて「感謝の祭儀」を捧げ、神様を最も大切にしているのです。

桜井彦孝神父

各 部 会 だ よ り

📖 壮年会

壮年会総会・新年会

1/15(日)10:15分～第4会議室にて

📖 婦人会

今年もよろしくお祈りします。

1月行事

6日(金) 初金 ミサ 10:00

8日(日) 教会新年会 ミサ 10:00

お手伝い担当：西1・西2

20日(金) 婦人会新年会 ミサ 10:00

その後イグナチオホールで。多くの方の御出席をお願い致します。

1月聖堂掃除当番

6日(金) 東3、東4

13日(金) 東5、中1

20日(金) 中2、中3

27日(金) 中4、中5

いずれも午前9時からです。

📖 青年会

< 定例会 >

1/8(日) 教会新年会のためお休み

1/22(日)12:30～14:00 於：第3会議室

内容：聖書研究(指導：高山神父)

初めての方も是非気軽に参加下さい！！

📖三日月会

< 例会 >

1月16日(月)14:00 ミサ、典礼の解説

📖教会学校

・3学期の開始

1月14日(土) 始業式・おもちつき大会

・教会学校のご案内ができました。聖堂入り口、事務所前などに置いてありますので、お知り合いで見学、入学、転入の方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。

📖社会活動部

1/1(日)&4(水) 神戸の冬を支える会越年
越冬活動、カトリック担当

是非ともご協力を！“家族揃って”大歓迎。

1/6(金) 社会活動部連絡会

初金ミサ後に始めます。検討事項が多数あり

ますので、出来るだけご参加を！

1/11(水) 10:00~ 手芸の集い

小物を作ります。何方でもご参加下さい。

1/14(土) 9:30~ 炊き出し

教会台所で準備し、用意出来次第、小野浜公園に移動

1/19(木)14:00~ ベタニアの集い

お寒いですが、ご参加をお待ち致しております。

1/27(金)14:00~ おにぎり作り

須磨方面、夜回り支援の為、ご協力をお願い致します。

御聖堂入り口の掲示板に、お知らせ、お誘い等が張り出してある事ご存知でしょうか？教会に来られた折には、時々お確かめ下さい。社会活動部以外にも色々と掲示されておりますので、是非“見て帰る”と言う習慣を！

地区会報告

12月10日(土)六甲アイランド地区集会(場所:高山宅)

待降節第3主日の前日の土曜日、安芸神父様をお迎えして六甲アイランド地区の家庭ミサと集会が行われました。

『豊かな日本ではクリスマスは本来の意味を失っている。日本のみならず、西欧カトリック諸国でも若者の宗教離れが進んでいる。待降節にあたり、豊かさの中で今一度心の支えとして、神との出会いを求める心の教育が望まれる』と神父様からお話がありました。

いつものメンバーに加えて、今回は未信者配偶者の方が2名参加していただきました。また、生後3ヶ月のまるで天使のような可愛い女の赤ちゃんが神父様から祝福を授けられ、若いお母様は勿論のこと、参加者全員がとても幸せな気持ちになりました。まさに待降節にふさわしい心温まる集会となりました。

いつものことながら、コーディネーターの福田様のご尽力に感謝しております。(参加者13名)

(高山)

14・15・16・17地区の合同家庭集会(場所:折川宅)

バレンタイン神父様にいらしていただき、14・15・16・17地区の合同家庭集会を折川宅で致しました。11時から2時頃までお昼をはさんで自己紹介、神父様のあらためてクリスマスを考えさせられるお話、食事をしながら割かち合いを致しました。年末で寒さも厳しく、集まられた方は少なかったのですが、初めて参加された方々もおられて話が弾み、近々、聖書を読む会を始めようという話になりました。2月ごろスタートの予定にしております。(折川)



御父の愛の秘儀なるクリスマス 大恭子

一本の聖樹あかるき闇の庭

恵子



子どものクリスマスイブのミサ

12月24日17時、子供のためのクリスマスイブのミサは、小百合児童館の子どもたちの元気な歌声で始まりました。寒い夜であったにもかかわらず、大人たちに交じって、本当にたくさんのこどもたちがミサに与りました。



<奉納するこどもたち>



<祝福を受けるこどもたち>



ヨシュア - 自由と解放をもたらすひと

ジョゼフ・F・ガーゾーン著
春秋社

この物語は勿論フィクションですが、この本の主人公ヨシュアという青年を通して、私達も自分の周囲に起こる同じ様な出来事を結構フレッシュな目で見えるようになります。翻訳者も書いているように、ヨシュアにはその名の示すように解放者として、この世のいろいろなものに縛られて自由でない私達を癒してくれます。大変読みやすい本なので、一度お読みになるようにお勧めいたします。たとえば、ある部分を引用いたしますと、『神はヨシュアにとってあまりにも親密なもの、彼の人生の一部だった。しかもおおよそ言葉で言い表す事の出来ないようなものである。そうしたものについて自分の考えや気持ちをどうやって短い言葉に要約できるだろうか。・・・「一番大切なこと、それは神は唯一だ、と言う事です。モーセはこの点を強調し

ました。・・・神の中には見事な調和があるので。これを理解する事が大切です。・・・神の単純明瞭さはダイヤモンドのような多面性をもった美しさであろう、無限に表現されるものです。・・・イエスはご自身のうちに、神の人間に対する無限の愛を独特の方法で映し持っておられました。・・・マーシャ、あなたがご自分のうちをじっと見つめる時に、一番よく神を見出す事が出来ると思いますよ。・・・もしあなたが時間を割いて神に語りかけるなら、あなたは神を見出し、神を見出す事によって、人生最大の喜びを見出すでしょう。神はご自身をあなたに顕し、あなたは神をいただくことによって、他のすべての事を理解するようになるでしょう。』と私達が日常生活の中で、あれやこれやと思いあぐね、決めかねている事を話している場面が多いです。著者はアメリカ人でカルメル修道会の司祭です。

(三輪)

お知らせ と お願い

主任司祭より

新年に当り、これまで司祭団や小教区評議会で話し合われて来た“教会にとって大切なこと”を要約してお知らせしますので、皆様のご理解とご協力をお願いします（お名前は、アイウエオ順で敬称略とさせていただきます）。

1) 教会の全てのメンバーは、キリストの弟子として、いただいた信仰の恵みと喜びを日々出会う方々に言葉と愛をもって伝えていく使命を受けています。

ご高齢や病気のため、また大きな苦しみや試練のため、その使命を日々の犠牲や祈りという素晴らしい方法によって果たしておられる方々もいらっしゃいます。教会はその方々の犠牲や祈りに支えられているのです。私たちも祈りと奉仕をもって、その方々を支えたいと思います。

家庭の中で親から子供に信仰が伝わるように、幼児期・小学生の時から家庭で一緒に祈ることが勧められます。就寝前に5～10分、易しい言葉で祈り聖歌を歌ったり聖書を読んだりする方法もあるでしょう。教会学校・中高生会の合同リーダー会もご家庭への協力を計画中です。これからの複雑多様な世界へ巣立って行く子供たちに、正しい価値観・人生観を伝えたいですね。

既に教会報にも掲載されましたが、ご家庭の場所を提供出来る方は近隣の方々や友人・知人を招き、月に一度でも一緒に聖書を読んだり、信仰・人生観・価値観などを分かち合う場を持っていたければ幸いです。キリスト教を押しついたり教えたりするのではなく、自然な形で茶話会のような気楽さをもって互いの生き方を分かち合うことが出来れば良いですね。ご自宅の場所を提供して下さるのは、教会が遠いから、教会は敷居が高いからという方々にも良い機会となるでしょう（この集いはまだ模索の段階かも知れませんが、地区会の家庭集会のような在り方です）。

壮年や婦人が中心になっている男の料理教室、絵画教室、混声合唱、囲碁将棋、俳句の会なども楽しい交わりの場として発展することを願っています。

2) 信徒の方々やシスター方が担当される聖書の勉強会や信仰入門講座などについて。

将来、聖書・典礼・信仰入門などの勉強会担当を希望される方々の中で、神学講座（英知大学など）に出席されたい方は、教会の費用で派遣することが出来ますので遠慮なくお申し出下さい。

求道者・初心者のための勉強会や講座に参加される信徒の方々は、信仰を求め或いはキリスト教に関心のある友人・知人と一緒に参加されるようお勧めしたいと思います。

時間的に都合の良い方は、信徒やシスターが担当する勉強会にも積極的に参加し互いに信仰を分かち合うのが大変望ましいと思います。教会では、桐原（月1回日曜午前）、藤原、堀川（共に隔週土曜午後）、三輪（隔週木曜午後）、吉村/高橋（木曜夜）そしてSr.出口、Sr.吉田のクラスが続いています。この方々は互いの研究や相談をしながら、それぞれ個性豊かな勉強会を準備しておられます。その趣旨と内容などについて、別掲の記事をご参照下さい。

2階図書室には聖書や信仰に関する図書が充実し、読みやすい本も揃っていますので、自らも進んで学びましょう。本を読んで考え祈ることは、血となり肉となって身に付くことと思います。

3) 集会祭儀の司式者について：2000年秋より教区司教の認可を受け、志田、藤原、堀川の3名の方々が司式者になり、その後岩谷、大倉、高橋、久本、藤井の5名の方々が加わりました。この方々には信徒による言葉の祭儀、家庭や地区会やグループでの祈りの集い、主日の集会祭儀（於海星病院）や通夜の典礼などにも司式者として貢献していただくこととなります。しかし、時間的制約のある方々もあり、今後も司式者を養成していく必要があるでしょう。

4) 聖体奉仕者について：教会法および司教協議会の定めによれば、22才以上で信仰生活3年以上の適正を有する信徒となっています。同時に、六甲教会では奉仕者のために任期を定めたり研修会・黙想会に参加していただくことを検討しています（12月の小教区評議会報告参照）。

さて毎年一度、聖体奉仕者のお名前を正式にお知らせするのが望ましいので、ここに記したいと思います。即ち今年は、阿部、飯塚、牛尾、大倉、沖田、河野、木暮(2名)、佐久間、志田、志水、高橋、竹内、橘、堤、中村(2名)、久本、福島、藤井(2名)、藤原(3名)、堀川(2名)、本下(2名)、山本の計29名の方々です。主日の各ミサにおいて司祭と共に聖体を授ける奉仕ですが、典礼部の方針として新しい方々との交替を含めて、さらに信徒の間に拡がって行くことを希望しています。

以上(1) 家庭で子供と共に祈り、子供に信仰を伝えていく、家庭という生活の場で近隣の方や友人と信仰を分かち合う、(2) 信徒やシスター方のクラスにも参加する等の新しい在り方は、今までともすれば教会や司祭ばかりに頼っていた私達の考え方や意識を少しずつ転換して行くことでもあります。

それは、神への信仰という偉大な恵みを自らの祈りと奉仕によって深めながら、またお互いに分かち合いながら、キリスト者として日々信仰に生きる喜びと信仰を伝えて行く勇気を感じていただきたいと切に願っているからです。



～評議会議長より新年のごあいさつ～

新年にあたって

評議会議長 鈴木

おめでとうございます。といっても昨年は事故や天災やいろんなことがありました。すべては神さまのご計画だから仕方がないけれど、今年はどうか無事に過ごせますように。

いま教会が直面している問題はたいへん深刻です。信徒の役割が重要になってきたのです。大阪大司教区の信徒奉仕職研究チームから、みんなで担う「信徒奉仕職」という冊子が発行されました。教区における信徒奉仕職のあり方について中間報告がありその中で、依然として司祭に依存しようとする考えが根強く働いていることが指摘されています。信徒の使命は教会の使命であるということが明確に記され、信徒の奉仕職について基本から学ぶことが勧められておりますので、私たちもそれぞれの場で実行に移したいと思います。

今年もどうぞみなさまのご理解によって、六甲教会のすべてのメンバーが神さまのみ旨に従って、必要な場所で使命を果たされるようにお祈りいたします。

信徒とシスター方による信仰入門・聖書勉強会について

[日曜日] 10:15 (1週、3週) キリストの教え入門 担当:シスター出口

求道者と初心者対象で、始めの一年余りは主に「使徒信条」の内容を勉強しましたが、今年は「父なる神」をテーマに「主の祈り」の教えをゆっくり学んでゆく予定です。

9時のミサ後「カトリック教会のカテキズム」を読む会 担当:桐原

ヨハネ・パウロ2世はこの本の序文で、この本の目的が「カトリックの教え全般についての正当な説明を行うことによって、教会が何を宣言し、どのような祭儀を執り行い、どのような生き方をし、日々どのような生活方針をもって祈るべきかをすべての人に知らせることにある」と述べておられます。一緒に読んで見たいと思います。毎月第1日曜の9時のミサ後、1時間半を予定しています。

[月曜日] 10:30 (2週、4週) ルカ福音書を読む 担当:シスター吉田

ルカが“順序正しく”書いたといわれる福音書を通読することによって、旧約を背景にイエス様とその時代に立ち、イエス様の姿を描き、その声に耳を傾けて今日を生き、明日を生きる命の糧となりますようにと2年間読んでまいりました。現在8名の方々と一緒ですが、終わりの章に近づいています。

[水曜日] 10:00 (1週、3週) キリストの教え入門 担当:シスター出口

上記日曜日10:15のクラスと同じく求道者と初心者を対象に、内容も同じです。参加者は二つのクラス合計で20名前後、求道者の方々はその半数くらいです。

[木曜日] 15:00 (1週、3週) 聖書勉強会 担当:三輪

3年目に入っていますが、今まで創世記の中から1~11章を見て、人とは何者か? 続いて12章からアブラハムの信仰について調べました。また出エジプトと申命記から解放と礼拝を学び、その後マルコ福音書を6段階に分けて調べ、時々例え話を見ました。現在は神と人との愛について雅歌を読み、次はマリアについて学びます。出席者は六甲など4教会の方々と求道者の方を含めて7~8名です。

15:00 (2週、4週) 聖書による信仰入門 担当:シスター出口

昨年より信徒だけのクラスが出来てしまいましたので、クラスの方々と話し合って「ヨハネの黙示録を読む」(今道瑤子著)を分かち合いも入れながら読んでいます。現在の参加者は6名です。

19:00 (毎週) 聖書による信仰入門 担当:吉村/高橋

イエス・キリストを身近に感じ、信仰を生活の中で生きるための入門講座です。聖書やプリントを読みビデオを見たりしながら、分かち合うことを基本にしています。最近はマザーテレサの言葉や救い・ゆるし・恵みについて新しい視点で書かれた記事を読み、また弟子の召命、イエスと人々の出会い、今の社会問題などを聖書に照らし合わせて考えました。参加者は20~60代の男女10数人です。

[土曜日] 15:00 (1週、3週) カトリックの信仰 担当:堀川

「カトリックの信仰」という本を読み、該当する聖書を通して勉強します。私も初心者のつもりで自分たちの体験を分かち合いながら、一緒に神様への道に少しで近づくことができたらと願っています。

15:00 (2週、4週) カトリックの信仰 担当:藤原

「カトリックの信仰」(鹿児島教区編)を使って一年間で入門コースを勉強します。・・・時間帯が悪いのか開店休業状態です。お待ちしております。

1月号のテーマ：これからのわたしたちの旅

今月、祈りの旅の要点は最後を迎えますが、神と共に歩む私たちの祈りの旅は続きます。以前よりもっと神の愛を親密に感じる「新しい人」としての再出発です。私たちはどのようなパターンで日々の祈りを続けていくか、これまで体験してきた祈りの旅を覚えながら、神の招きに旅を続けていたら幸いです。

次の祈りを持って、祈りの旅を続けていきます。「わたしの一日の生活のすべて 仕事、活動、人との関わりを神にゆだねます。どんなに失敗しても、たとえ挫折があっても、『すべてのものの中に神を見出す』ことがわたしの生き方を動機づけるものとなりますように。どうかわたしの毎日の生活において神の名は常に賛美されますように」最後に、次の問いかけをもって、毎日の生活を迎えていきましょう。

どのようにしたら自分の日々の生活を神の元に集中することができるでしょうか？

霊的な成長のために、どのような生活のパターンを選びますか？

どのような執着から自分自身を解放したいのですか？

イエスと共に生きることはどのようなインパクトを自分に与えてくれますか？

現在と未来の自分の生きる目的のために？自分の生き方のために？

人との関係のために？

さらに、貧しく生きている人々に対する自分の関心、思いやり、連帯のために？

長い霊的な旅を経て、さらに神の力によって、私たちが思った以上の豊かな霊的な体験をさせて頂いたことを、神に感謝します。これからもどうぞ神との親しい交わりを多くの人々にも伝えていくように、努めてください。おめでとうございます。(バンバン神父)

シリーズで掲載して参りましたバンバン神父さまによる「祈りの旅」も今月が最終回となりました。バンバン神父さま、1年半に亘るご指導ありがとうございました。(広報部)

教会報2月号の発行は、1月29日(日)です。
編集会議は1月22日(日)です。
記事原稿は、1月15日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願います。(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会
〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21
電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6
発行責任者 桜 井 彦 孝 神 父
編 集 広 報 部